

第3節

現状(ダム・河道整備状況)で大雨
が降ったときに想定される洪水量

1. 降雨量と流量との関係

1.1 基準となる洪水の選定

整備計画の基準となる洪水型

⇒昭和28年9月型

- 既往の洪水のうち被害が最大であった
- 現在襲来した場合に最大の流量となる洪水

1. 降雨量と流量との関係

1.1 基準となる洪水の選定

洪水毎の地点別流量一覧表

洪水名	実績総雨量 (mm) (枚方地点)	想定される流量			
		淀川 (枚方)	木津川 (加茂)	桂川 (羽束師)	宇治川 (宇治)
昭和28年9月型 (台風13号)	249	7,600	4,300	2,500	1,100
昭和31年9月型 (台風15号)	176	4,500	3,400	970	710
昭和33年8月型 (台風17号)	171	5,100	3,900	770	910
昭和34年8月型 (台風7号)	272	6,200	3,500	2,100	950
昭和34年9月型 (台風15号; 伊勢湾台風)	215	6,300	4,100	1,700	700
昭和35年8月型 (台風16号)	179	3,400	1,100	2,300	270
昭和36年10月型 (前線及台風)	251	6,800	4,300	1,800	880
昭和40年9月型 (台風24号)	203	6,200	3,900	2,000	860
昭和57年8月型 (台風10号)	231	6,200	4,000	1,400	950

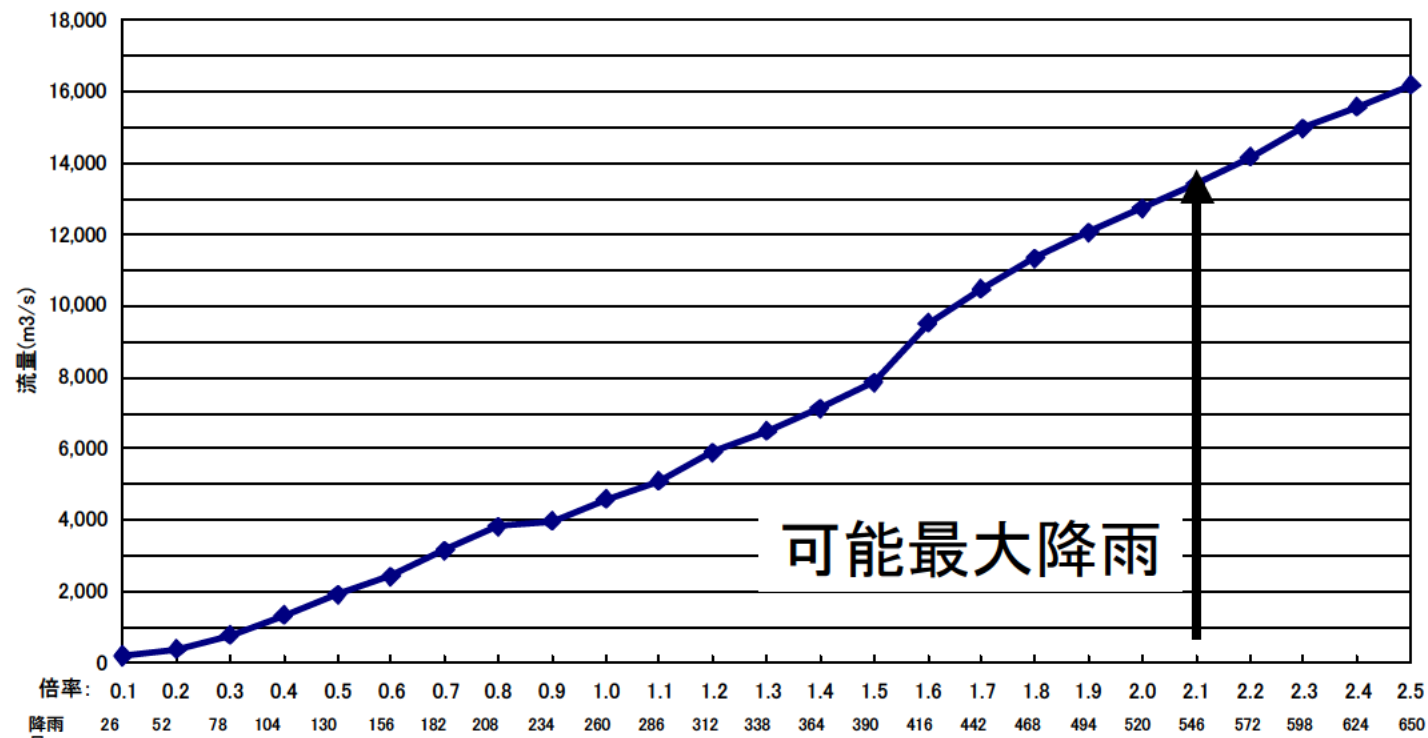
いずれの地点も昭和28年9月型が最大となる

1. 降雨量と流量との関係

1.2 降雨量(1割増 2割増..)と流量との関係

木津川・加茂地点(30.6k付近)

昭和28年9月型



- ・ 上流ダム群現行操作
- ・ 上流河道の氾濫あり